

Working Paper Series (J)

No.13

親の居住地からみた育児期の夫婦の関係性：
『全国家庭動向調査』を用いた特別集計
Relationship of married couples during child-rearing period –
A comparison across distances to couple's parents

山内昌和・千年よしみ

Masakazu YAMAUCHI・Yoshimi CHITOSE

2015年7月

http://www.ipss.go.jp/publication/j/WP/IPSS_WPJ13.pdf



〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 6階

<http://www.ipss.go.jp>

本ワーキング・ペーパーの内容は全て執筆者の個人的見解であり、国立社会保障・人口問題研究所の見解を示すものではありません。

親の居住地からみた育児期の夫婦の関係性：

『全国家庭動向調査』を用いた特別集計

山内 昌和（国立社会保障・人口問題研究所）

千年 よしみ（国立社会保障・人口問題研究所）

国立社会保障・人口問題研究所は5年おきに全国家庭動向調査を実施しており、主要な結果について報告書（国立社会保障・人口問題研究所2015a, 2015b）等で公表している。本稿は、こうした結果をさらに補完することを目的とし、報告書等で公表していない親の居住地別にみた育児期における夫婦の関係性について、主として第5回調査の結果を詳細に表章する。これにより、近年関心が高まりつつある育児期の夫婦の関係性と親の居住地との関係解明の一助とする。本稿で取り上げる夫婦の関係性についての項目は、出産・子育てにおける妻への最も重要な支援提供者、夫婦間での家事や育児の分担、夫婦の意思決定、夫婦の共通行動、妻に対する夫の情緒的支援、である。本稿で示された結果は、第5回全国家庭動向調査プロジェクトの一環として統計法第32条に基づき調査票情報を二次利用して得られたものである。

1. 集計対象の定義と親の居住地の推移

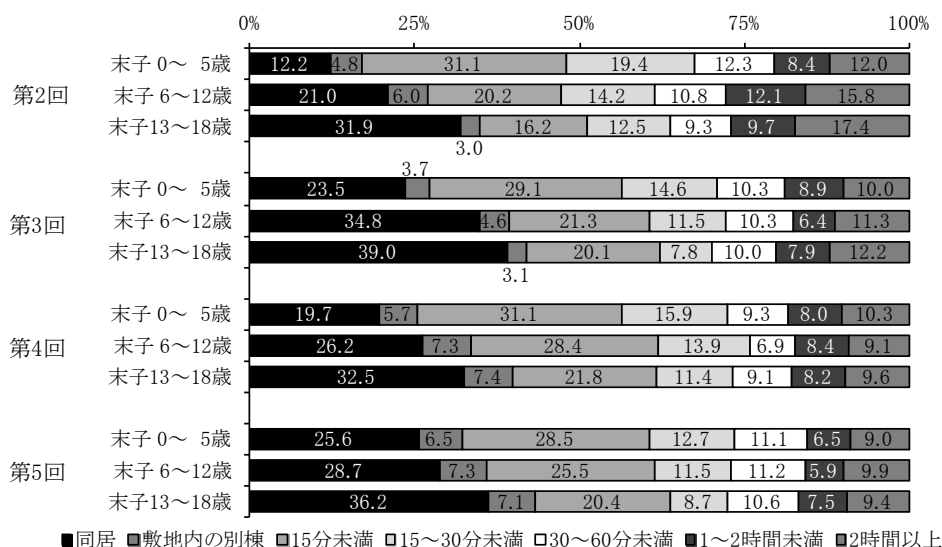
育児期の夫婦を対象とする本稿では、全国家庭動向調査の対象者である結婚経験のある女性のうち、60歳未満の有配偶の女性で、末子が0～18歳のケースを集計対象とした（以下、集計対象となった有配偶女性のことを原則として妻と表記する）。末子の年齢については、子の年齢によって子に対するケアのあり方が変化することを考慮し、「0～5歳」、「6～12歳」、「13～18歳」に3区分した。この区分は、それぞれ末子が未就学、小学生、中学生以上に概ね該当する。

全国家庭動向調査では夫婦それぞれの父親と母親の居住地について「よく使う交通手段でかかる時間」を基準として調査している。本稿では、親の居住地については、夫婦それぞれの親の中で最も近いところに居住する親を参照し、「同居」、「近居」（よく使う交通手段で30分未満までの距離）、「遠居」（よく使う交通手段で30分以上）に3区分した。30分未満までを「近居」としたのは、比較的高頻度で相互に行き来できると考えられるからである。

図1は、末子の年齢が特定できる第2回調査から第5回調査について、末子年齢別に最も近いところに居住する親の居住地を整理したものである。同図に関しては、居住地の分布の詳細を把握できるように、上述の3区分よりも細かい区分を用いた。末子年齢と最も近い親の居住地との関係を見ると、各調査回とも一定の傾向がみられる。すなわち「同居」の割合は、末子年齢が上がるにつれて上昇し、対照的に「15分未満」や「15～30分未満」の割合は低下する。それ以外の「敷地内別居」や「30～60分未満」、「1～2時間未満」、「2時間以上」の割合については、末子年齢との関係ははっきりとしない。

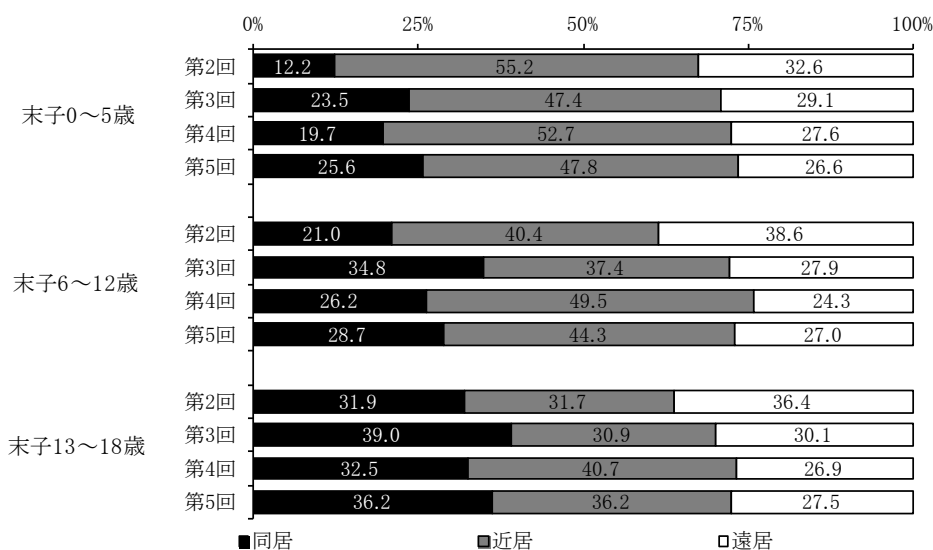
図2は、末子年齢が同じ場合、最も近い親の居住地が時系列でどのように変化したかをみたものである。第3回調査の同居割合がやや高いなど一貫した傾向を示すわけではないが、趨勢としてはいずれの末子年齢にでも「同居」の割合は上昇し、「遠居」の割合は低下する傾向にある。

図1 調査回別、末子年齢別にみた最も近い親の居住地



注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図2 末子年齢別、調査回別にみた最も近い親の居住地



注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

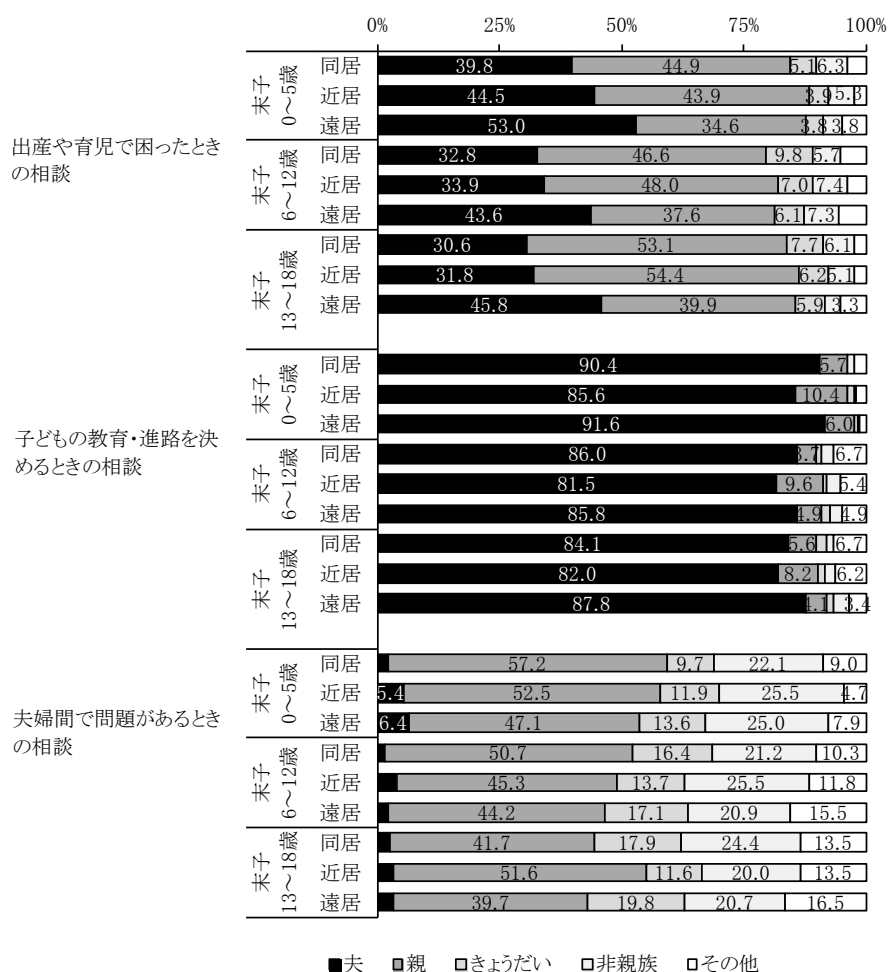
2. 親の居住地からみた出産・子育てに関わるサポート資源

第5回家庭動向調査では出産や子育てに関する様々な場面を具体的に設定し、それぞれの場面で妻が誰に支援を頼むのか、最も重要な支援提供者として第1位から第4位まで(項目によっては第2位まで)を尋ねている。ここでは、全国家庭動向調査で設定した様々な場面での支援を、1)精神的サポート、2)世話的支持、3)経済的支持に分け、それぞれについて、末子年齢別、最も近い親の居住地別に、妻にとって最も重要な支援提供者が誰なのかを集計した。

2.1 精神的サポート

妻に対する出産・子育てに係わるサポートのうち、「出産や育児で困ったときの相談」、「子どもの教育・進路を決めるときの相談」、「夫婦間で問題があるときの相談」の3つを精神的サポートに分類した。精神的サポートの最も重要な支援提供者をまとめたのが図3である。

図3 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた精神的サポートの最も重要な支援提供者(第5回調査)



注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

「出産や育児で困ったときの相談」では、末子年齢や最も近い親の居住地にかかわらず「夫」と「親」を合わせた割合が概ね8割台を占める。末子年齢が同じ場合、最も近い親の居住地が「同居」、「近居」、「遠居」と遠くなるにつれ、「夫」が最も重要な相談相手である割合は上昇する傾向にある。「遠居」の場合には最も重要な相談相手は「夫」、「親」の順であるのに対し、「同居」の場合には「親」、「夫」の順である。例えば末子が0～5歳では、最も近い親が「遠居」の場合には「夫」が53.0%、「親」が34.6%と「夫」の方が約18ポイントも高いのに対し、「同居」の場合には「親」が44.9%、「夫」が39.8%で「親」の方が約5ポイント高い。

「子どもの教育・進路を決めるときの相談」については、末子年齢や最も近い親の居住地にか

かわらず「夫」の割合が8~9割と一貫して高い。ただし、最も近い親が「近居」の場合、「親」が最も重要な相談相手である割合が8.2~10.4%となっており、「同居」や「遠居」よりもわずかに高い傾向がみられる。

「夫婦間で問題があるときの相談」では、末子年齢や最も近い親の居住地にかかわらず「親」が最も高く39.7~57.2%を占める。末子が0~5歳、6~12歳では、最も近い親の居住地が遠くなるにつれ「親」の割合が低下する。しかし、末子が13~18歳では、「親」の割合が最も高いのは「近居」の51.6%である。他方で、「きょうだい」、「非親族」、「その他」を合計した割合が上述の「出産や育児で困ったときの相談」や「子どもの教育・進路を決めるときの相談」に比べて高い傾向にあり、「同居」や「近居」よりも「遠居」の場合にそれらの割合が高い。

2.2 世話的支持（長期的な世話）

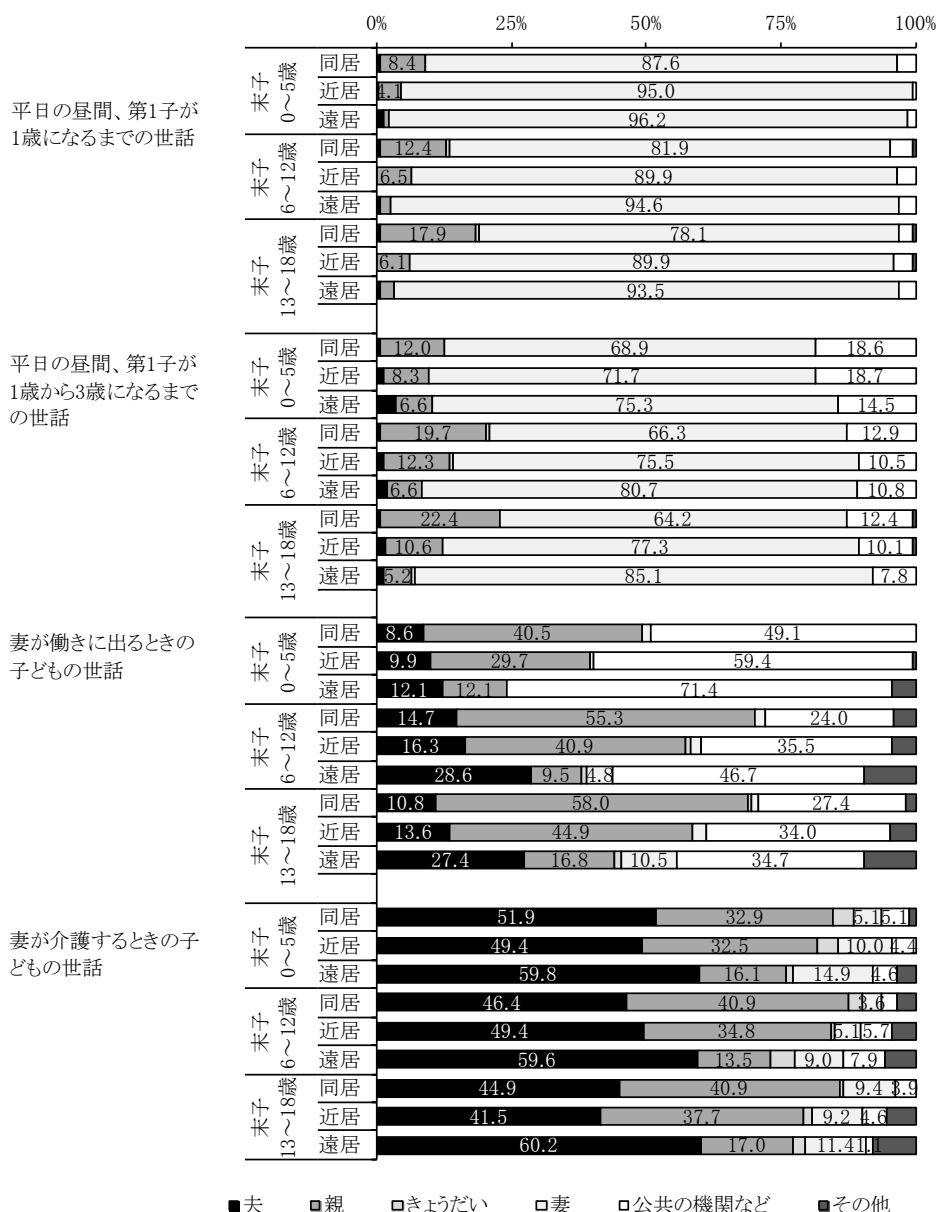
世話的支持のうち「平日の昼間、第1子が1歳になるまでの世話」、「平日の昼間、第1子が1歳から3歳になるまでの世話」、「妻が働きに出るときの子どもの世話」、「妻が介護するときの子どもの世話」を長期的な世話として、最も重要な支援提供者を整理したのが図4である。

「平日の昼間、第1子が1歳になるまでの世話」については、末子年齢や最も近い親の居住地にかかわらず「妻」本人の割合が最も高く、8~9割に達する。ただし、末子年齢が同じ場合、親が近くに居住しているほど「親」の割合が高くなる。例えば、末子が0~5歳の場合、「遠居」では「親」の割合はわずか1.1%に対し、「近居」では4.1%、「同居」では8.4%である。また、同じ「同居」であっても、末子年齢が高い場合には「親」の割合が高く、末子が0~5歳で8.4%、6~12歳で12.4%、13~18歳で17.9%である。

「平日の昼間、第1子が1歳から3歳になるまでの世話」についても、「妻」の割合は64.2~85.1%と圧倒的に高く、次いで「親」と保育所が大部分を占める「公共の機関など」である。このうちの「親」については、上述の「平日の昼間、第1子が1歳になるまでの世話」同様、末子年齢が同じ場合には、最も近い親の居住地が近くなるほど「親」の割合は高い。また、最も近い親が「同居」の場合には、末子年齢が高いほど「親」の割合が高い。「公共の機関など」の割合は、末子年齢が同じ場合、最も近い親の居住地が近くなるほど高い値を示す傾向にあり、また、末子が6~12歳や13~18歳に比べ、0~5歳の方が「公共の機関など」の割合が高い傾向にある。

「妻が働きに出るときの子どもの世話」については、上述の2項目に比べ、「親」や「夫」、保育所が大部分を占める「公共の機関など」の割合が高い。末子年齢が同じ場合、最も近い親の居住地が遠くなるにつれ「親」の割合が低下し、「夫」の割合が上昇する。特に末子が13~18歳の「夫」の割合は、「同居」で10.8%、「近居」で13.6%、「遠居」で27.4%であり、「遠居」では「公共の機関など」に次ぐ高さである。「公共の機関など」についても同様であり、末子年齢が同じ場合、最も近い親の居住地が遠くなるにつれ「公共の機関など」の割合が上昇する。特に末子が0~5歳の「公共の機関など」の割合は、「同居」で49.1%、「近居」で59.4%、「遠居」で71.4%となる。また、「公共の機関など」の割合は末子年齢が高いほど低くなり、例えば最も近い親が「遠居」の場合、「公共の機関など」の割合は末子が0~5歳で71.4%、6~12歳で46.7%、13~18歳で34.7%である。

図4 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた世話的支持(長期的な世話)の最も重要な支援提供者(第5回調査)



注1) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。
 注2) 「公共の機関など」は、そのほとんどが「保育所(保育士)」である。

「妻が介護するときの子どもの世話」では、「夫」の割合が41.5~60.2%と最も高い。また、末子年齢が同じであれば、最も近い親が「遠居」の場合に「夫」の割合が高い。末子が13~18歳の「夫」の割合は、「同居」で44.9%、「近居」で41.5%、「遠居」で60.2%であり、「遠居」の方が「同居」よりも約15ポイント高い。

2.3 世話的支持(短期的・突発的な世話)

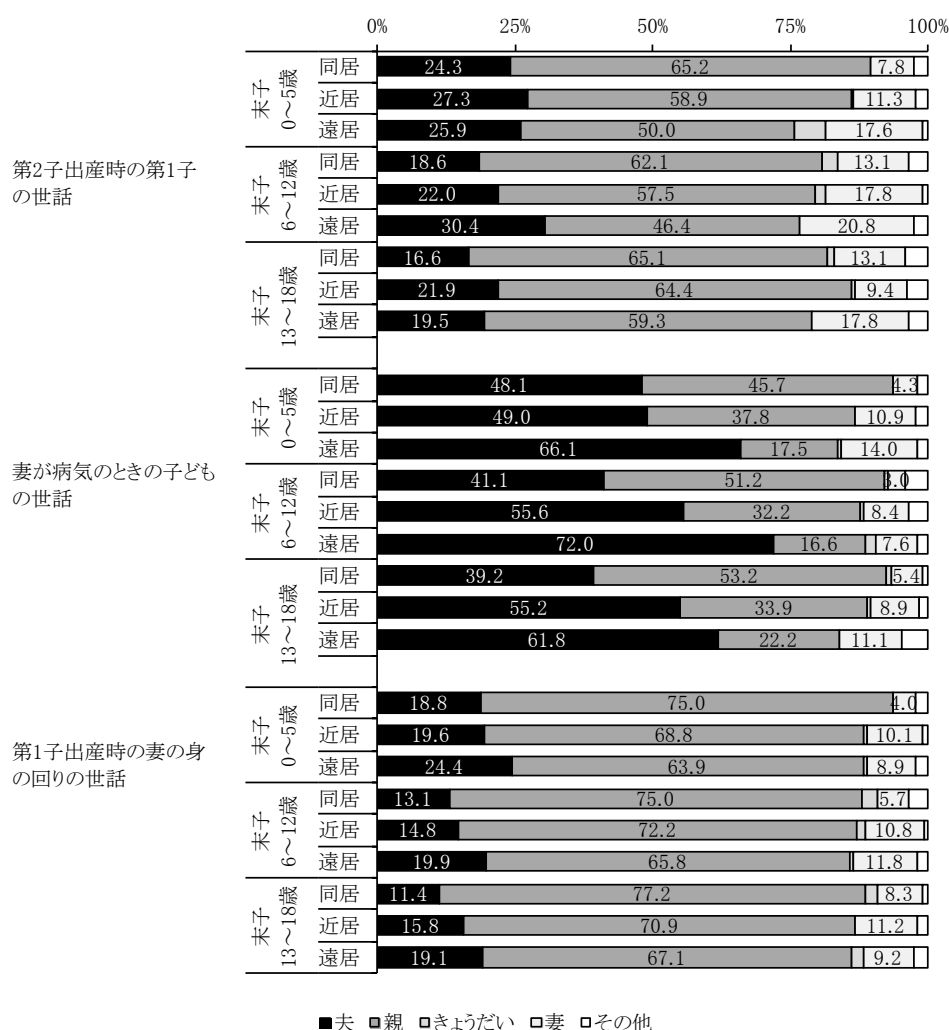
世話的支持のうち「第2子出産時の第1子の世話」、「妻が病気のときの子どもの世話」、「第1子出産時の妻の身の回りの世話」を短期的・突発的な世話として、最も重要な支援提供者を整

理したのが図5である。

「第2子出産時の第1子の世話」については、最も高い割合を示すのが「親」、続いて「夫」、「妻」の順である。この項目に関しては、末子年齢や最も近い親の居住地による差はあまりみられず、「親」の割合が46.4～65.2%と高い値を示す。「夫」の割合は、末子が6～12歳で最も近い親が「遠居」の場合に30.4%と比較的高いが、他は20%前後である。「妻」の割合は、妻自身が最も重要な担い手になっていることを意味しており、とりわけ最も近い親が「遠居」の場合、「妻」の割合は17.6～20.8%で同じ末子年齢の「近居」や「同居」よりも高い値を示す。

「妻が病気のときの子どもの世話」については、「夫」と「親」の割合が高いが、どちらの割合が高くなるかは親の居住地によって異なる。全体的に親の居住地が遠くなるほど、「夫」の割合が「親」を上回る。例えば末子が13～18歳の場合、「夫」の割合は最も近い親と「同居」で39.2%、「近居」で55.2%、「遠居」で61.8%と上昇するのに対し、「親」の割合は、最も近い親と「同居」で53.2%、「近居」で33.9%、「遠居」で22.2%と低下する。同様の傾向は、末子が0～5歳、6～12歳でもみられる。

図5 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた世話的支持(短期的・突発的な世話)の最も重要な支援提供者(第5回調査)



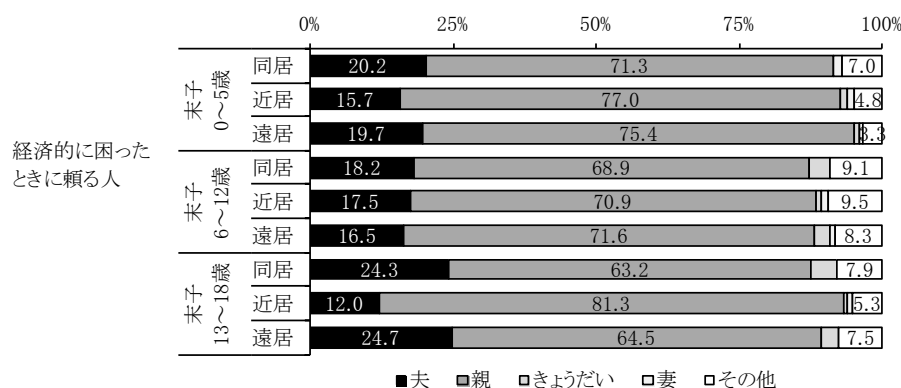
注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

「第1子出産時の妻の身の回りの世話」については、「親」の割合が63.9～77.2%であり、親が主要なサポート源となっている。末子年齢が同じ場合、最も近い親が「遠居」であると「夫」の割合が若干高くなる傾向がみられるが、上述の「妻が病気のときの子どもの世話」に比べれば「夫」の割合はかなり低い。また、最も近い親が「同居」や「遠居」では、末子年齢が低い方が「夫」の割合が高い傾向がみられる。例えば、最も近い親と「同居」で「夫」が最も重要な支援提供者である割合は、末子が13～18歳で11.4%、6～12歳で13.1%、0～5歳で18.8%となる。

2.4 経済的サポート

図6は、「経済的に困ったときに頼る人」に関する最も重要な支援提供者を示している。「経済的に困ったときに頼る人」については、「親」の割合が6割～8割台で圧倒的に高く、それに次ぐ「夫」は1割～2割台である。末子が6～12歳については、最も近い親と「同居」よりも「近居」、「近居」よりも「遠居」で「夫」の割合が低く、「親」の割合が高くなるが、末子が0～5歳や13～18歳ではそういった関係はみられない。

図6 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた経済的サポートの最も重要な支援提供者(第5回調査)



注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

3. 親の居住地からみた夫と妻の家事分担および夫の家事遂行

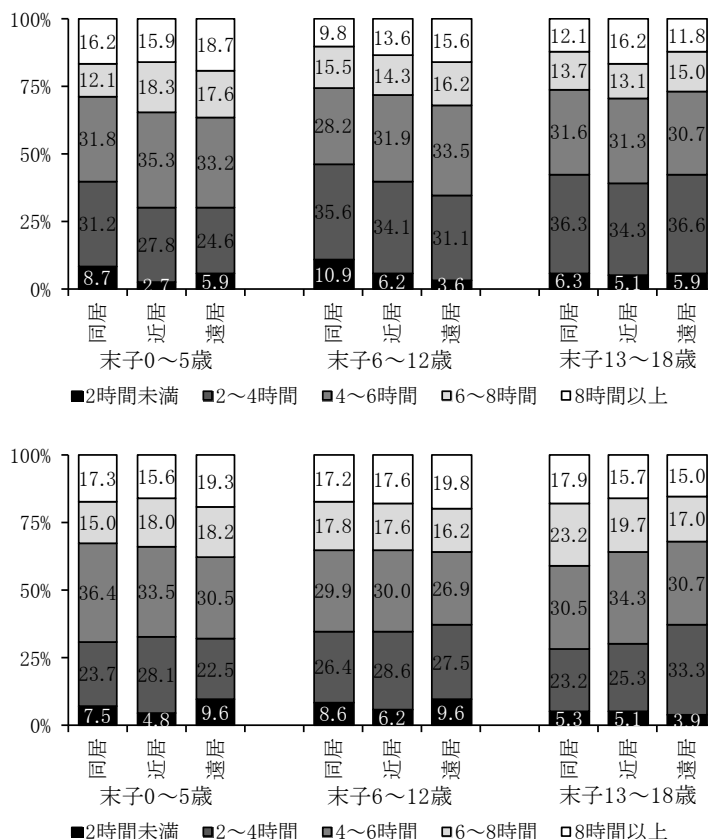
3.1 妻の家事時間

妻の家事時間を整理したのが図7である。平日に関しては、末子が0～5歳や6～12歳の場合、最も近い親と「同居」の方が「近居」や「遠居」よりも「2時間未満」や「2～4時間」の割合が高く、「6～8時間」と「8時間以上」を合計した割合が低い傾向にある。

休日に関しても、末子が0～5歳や6～12歳については、平日の家事時間に比べて緩やかではあるが、最も近い親が「同居」の方が「近居」や「遠居」よりも「6～8時間」と「8時間以上」の割合を合計した値が少ない傾向にある。しかし、末子が13～18歳の場合、最も近い親が「遠居」の方が「同居」や「近居」よりも「6～8時間」と「8時間以上」の割合を合計した値は低い傾向にある。

図7 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた妻の家事時間の分布(第5回調査)

(上:平日 下:休日)



注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

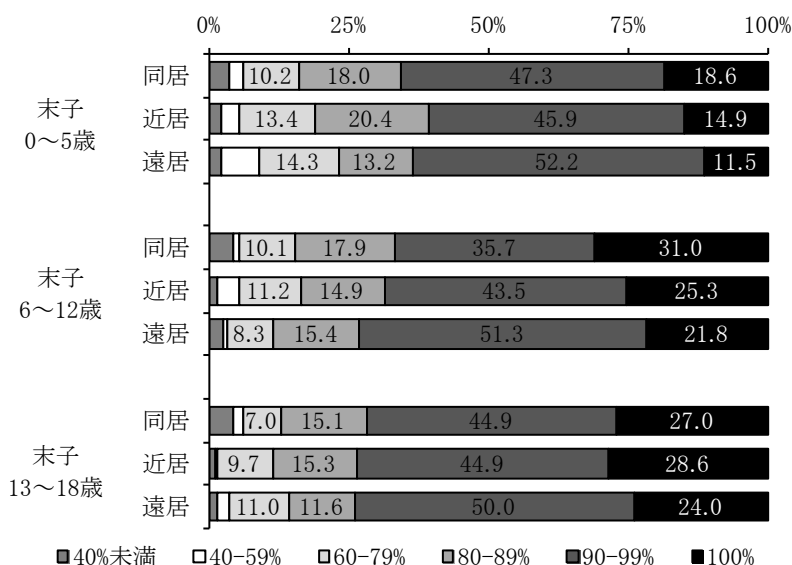
3.2 夫と妻の家事分担

夫と妻が遂行する家事の総量を100としたとき、妻の分担割合を示したのが図8である。末子年齢や親の居住地にかかわらず妻の分担割合が高い。末子が0~5歳の場合、妻が「100%」分担する割合が最も高いのは「同居」で、最も低いのは「遠居」である。妻の分担割合「80~89%」、「90~99%」、「100%」の合計も同様である。

末子が6~12歳の場合、妻が「100%」分担する割合は「同居」で最も高く、「遠居」で最も低いが、妻が「90~99%」分担する割合は「遠居」で最も高く、「同居」で最も低くなっている。妻の分担割合「80~89%」、「90~99%」、「100%」の合計は、親の居住地が同じ場合、末子が0~5歳よりも高い値である。

末子が13~18歳の場合、末子が0~5歳の場合に比べ、妻の分担割合は相対的に高い傾向にある。妻の分担割合が「80~89%」、「90~99%」、「100%」の合計は、親の居住地が同じ場合、末子が0~5歳の場合より高い値である。

図8 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた妻の家事分担割合の分布(第5回調査)



注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

3.3 夫の家事遂行の頻度

夫の家事遂行の頻度について、家事の種類別に、週に1～2回以上遂行した人の割合を示したのが図9である。末子が0～5歳については、いずれの家事においても値が最も低いのは「同居」の場合であり、最も高いのが「遠居」の場合である。例えば「ゴミ出し」は「遠居」で57.8%、「近居」でも55.2%と過半数を超えるが、「同居」では26.3%である。

末子が6～12歳については、値が最も低いのは「日常の買い物」を除いて「同居」の場合であり、値が最も高いのは「洗濯」と「食後の片付け」を除いて「遠居」の場合である。末子が0～5歳で最も近い親の居住地が同じ場合と比べると、値は総じて低い傾向にある。

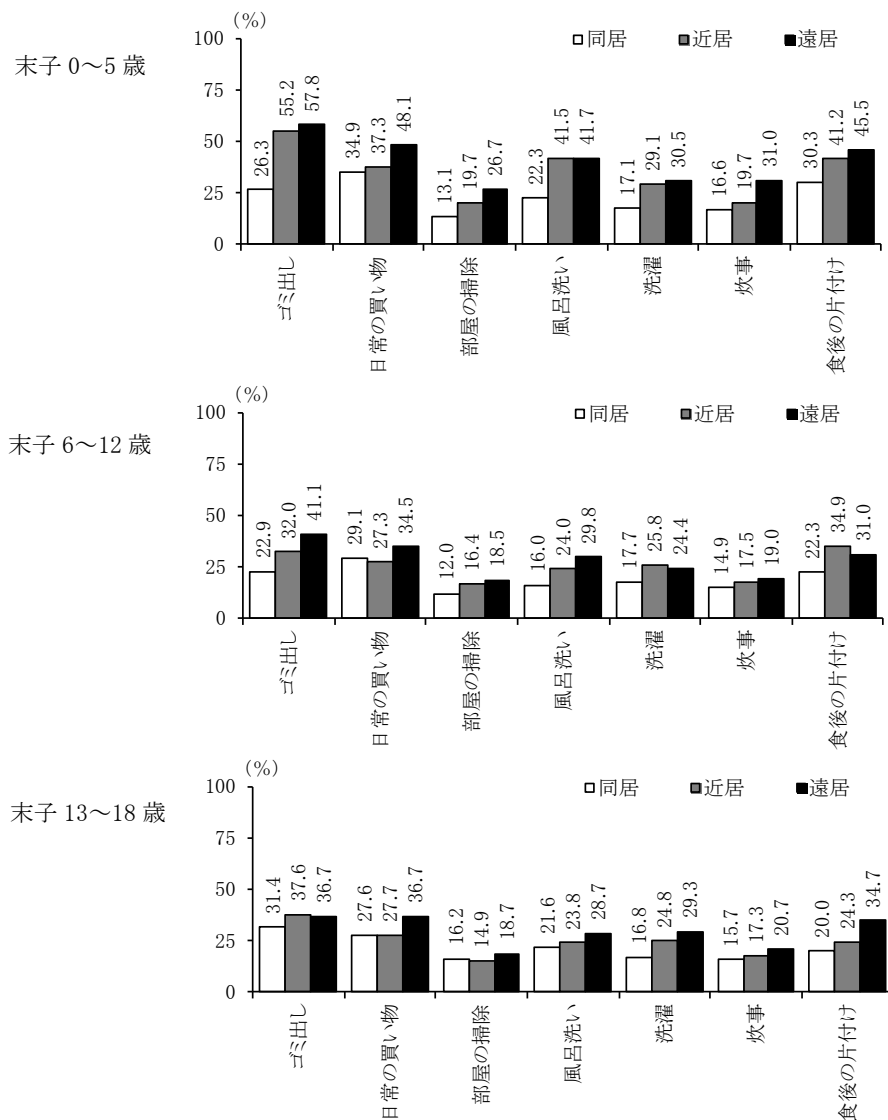
末子が13～18歳については、値が最も低いのは「部屋の掃除」を除いて「同居」の場合であり、値が最も高いのは「ゴミ出し」を除いて「遠居」の場合である。末子が0～5歳で最も近い親の居住地が同じ場合と比べると、値は総じて低い傾向にある。

上述の家事の種類のうち、第1回調査以降に共通する5つの家事(「ゴミ出し」、「日常の買い物」、「部屋の掃除」、「洗濯」、「炊事」)について、家事の種類ごとに夫の遂行頻度を得点化し(夫が「毎日・毎回」行う場合は4点、「週に3～4回」行う場合は3点、「週に1～2回」行う場合は2点、「月に1～2回」行う場合は1点、それ以外は0点)、合計した家事得点の平均値を示したのが表1である。家事得点は0～20点の値を取り、値が大きいほど夫の家事遂行の頻度が高いことを表す。

全ての末子年齢について、「同居」の場合に家事得点が最も低く、「遠居」の場合に最も高くなる。末子が0～5歳については、「同居」で最も低い4.1点、「遠居」で最も高い6.7点であり、両者の間には2.6ポイントの差がある。末子が6～12歳については、「同居」で最も低い3.7点、「遠居」で最も高い5.0点で、両者には1.3ポイントの差がある。末子が13～18歳については、「同居」で最も低い4.1点、「遠居」で最も高い4.9点で、両者には0.8ポイントの差がある。最も近い親の居住地が同じであれば、末子が0～5歳の場合に家事得点は最も高くなる傾向にある。ただ

し、表1で最も高い家事得点である6.7点は、平均的にみれば5つの家事項目のうち3つを「月に1~2回」、残る2つを「週に1~2回」行うという水準である。

図9 末子年齢別、最も近い親の居住地別、家事の種類別にみた週1~2回以上家事を遂行した夫の割合(第5回調査)



注) 60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下で、すべての家事の種類について回答しているケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

表1 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた夫の家事得点の平均値(第5回調査)

末子年齢	親の居住地	家事得点	ケース数
0~5歳	同居	4.1	175
	近居	5.6	330
	遠居	6.7	187
6~12歳	同居	3.7	175
	近居	4.4	275
	遠居	5.0	168
13~18歳	同居	4.1	185
	近居	4.4	202
	遠居	4.9	150

注) 60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下で、すべての家事の種類について回答しているケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

3.4 夫の家事に対する妻の期待と評価

夫の家事に対する妻の期待について示したのが表2である。「期待する」の割合は、末子の年齢にかかわらず、最も近い親が「同居」の場合に最も低く、「遠居」の場合に最も高い。最も近い親の居住地が同じであれば、末子が0～5歳の場合に「期待する」の割合が最も高い。ただし、「期待する」の割合は総じて低く、夫の家事に「期待しない」という妻の方が多数を占める。

一方、夫の家事に対する妻の評価について示した表3によれば、末子が0～5歳における「満足」の割合は、最も近い親が「同居」の場合に最も低い53.5%、「遠居」の場合に最も高い59.1%である。末子が6～12歳における「満足」の割合は、「同居」の場合に低く、「近居」と「遠居」は同水準であるが、いずれも過半数を下回る。末子が13～18歳では、「同居」、「近居」、「遠居」のいずれの場合も「満足」の割合は43%前後である。

表2に示した期待と表3に示した評価とを比較すると、末子年齢と最も近い親の居住地が同じ場合には、「期待する」の割合に比べて「満足」の割合が10ポイント以上高い。なかでも末子が0～5歳で最も近い親が「同居」の場合、両者の差は26.6ポイントにも及ぶ。

表2 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた夫の家事に対して「期待する」、「期待しない」と回答した妻の割合(第5回調査)

末子年齢	親の居住地	期待する (%)	期待しない (%)	ケース数
0～5歳	同居	26.9	73.1	175
	近居	38.3	61.7	339
	遠居	40.1	59.9	187
6～12歳	同居	23.0	77.0	178
	近居	26.8	73.2	280
	遠居	28.6	71.4	168
13～18歳	同居	22.2	77.8	194
	近居	25.5	74.5	204
	遠居	28.8	71.2	153

表3 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた夫の家事に対して「満足」、「不満」と回答した妻の割合(第5回調査)

末子年齢	親の居住地	満足 (%)	不満 (%)	ケース数
0～5歳	同居	53.5	46.5	172
	近居	56.5	43.5	329
	遠居	59.1	40.9	186
6～12歳	同居	37.6	62.4	170
	近居	48.7	51.3	267
	遠居	48.5	51.5	163
13～18歳	同居	43.9	56.1	180
	近居	42.9	57.1	196
	遠居	43.5	56.5	147

注1) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

注2) 夫に対する妻の期待は「非常に期待している」と「まあまあ期待している」を「期待する」、「あまり期待していない」と「ほとんど期待していない」と「もともと期待していない」を「期待しない」とした。

注1) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

注2) 夫に対する妻の評価は「非常に満足」と「まあまあ満足」を「満足」、「やや不満」と「非常に不満」を「不満」とした。

4. 親の居住地からみた夫と妻の育児分担および夫の育児遂行

4.1 夫と妻の育児分担

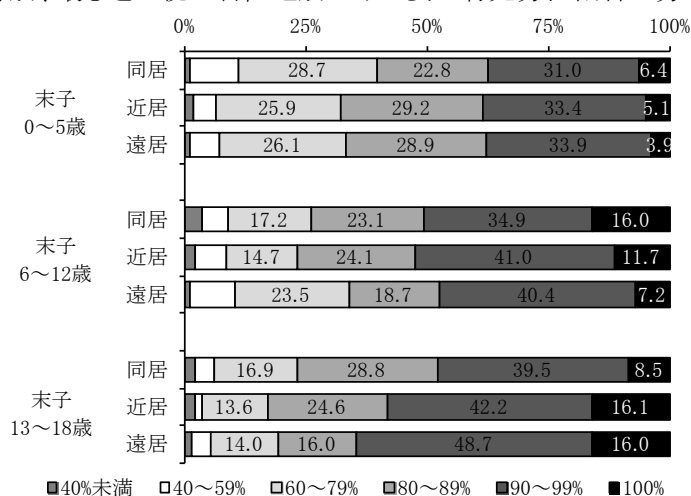
夫と妻が遂行する育児の総量を100としたとき、妻の分担割合を示したのが図10である。末子年齢や親の居住地にかかわらず妻の分担割合が高い。末子が0～5歳の場合、妻が「100%」分担する割合は「同居」で最も高く、「遠居」で最も低い。妻の分担割合が「80～89%」、「90～99%」、「100%」の合計については「同居」で60.2%と最も低く、「近居」で67.7%、「遠居」で66.7%である。

末子が6～12歳についても、妻が「100%」分担する割合は「同居」で最も高く、「遠居」で最も低い。妻の分担割合が「80～89%」、「90～99%」、「100%」の合計は、「同居」で74.0%、「近居」で76.8%、「遠居」で66.3%であり、末子が0～5歳に比べ「遠居」以外は高い傾向にある。

末子が13～18歳については、妻の分担割合が「100%」と「90～99%」を合わせた割合は「遠居」で最も高く、「同居」で最も低い。妻の分担割合が「80～89%」、「90～99%」、「100%」の合計は、「同居」で76.8%、「近居」で82.9%、「遠居」で80.7%であり、いずれも末子が0～5歳の場合に比べて高い値である。

前節でみた家事についての妻の分担割合と比べると、末子の年齢と最も近い親の居住地が同じ場合には、育児の方が妻の分担割合は低い傾向にある。

図10 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた妻の育児分担割合の分布(第5回調査)



注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

4.2 夫の育児遂行の頻度

子どもが3歳までの育児を週1～2回以上遂行した夫の割合を、育児の種類別に示したのが図11である。なお、子どもが3歳までの育児に関する調査であることから、末子が0～5歳の場合のみ示した。

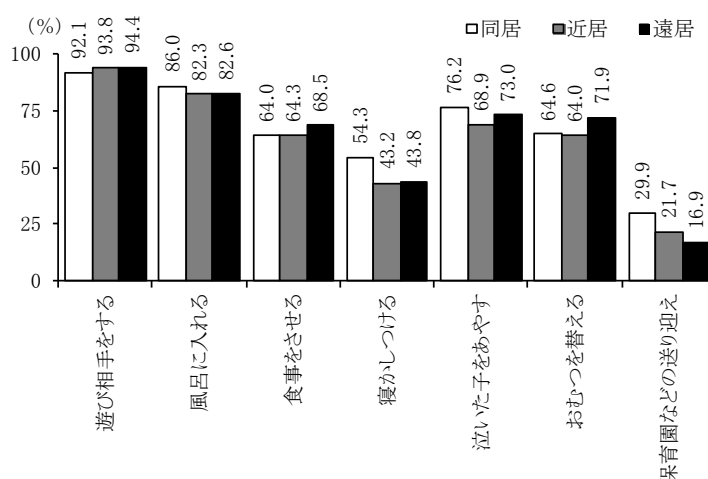
前節でみた家事と異なり、最も近い親の居住地にかかわらず週に1～2回以上遂行した夫の割合は総じて高い値である。例えば、「遊び相手をする」は90%以上、「風呂に入れる」は80%以上、「食事をさせる」や「泣いた子をあやす」、「おむつを替える」は60%以上である。一方、「寝かしつける」や「保育園などの送り迎え」は低い値であり、最も近い親が「同居」の場合に最も高い値を示す。

上述の育児の種類のうち、第1回調査以降に共通する5つの育児(「遊び相手をする」、「風呂に入れる」、「食事をさせる」、「寝かしつける」、「おむつを替える」)について、育児の種類ごとに夫の遂行頻度を得点化し(夫が「毎日・毎回」行う場合は4点、「週に3～4回」行う場合は3点、「週に1～2回」行う場合は2点、「月に1～2回」行う場合は1点、それ以外は0点)、合計した育児得点の平均値を示したのが表4である。育児得点は0～20点の値を取り、値が大きいほど夫

の育児遂行の頻度が高いことを表す。ここでも3歳までの育児であることから、末子が0～5歳の場合のみ示す。

育児得点は「同居」の場合に最も高い11.9点、「近居」の場合に10.8点、「遠居」の場合に10.9点であり、「同居」が「近居」や「遠居」よりも約1ポイント高い。最も高い育児得点である11.9点は、平均的にみれば5つの育児項目のうち2つを「週に3～4回」、3つを「週に1～2回」行う水準である。前節でみた家事得点に比べれば、育児得点の方が高い。

図 11 最も近い親の居住地別、育児の種類別にみた週1～2回以上育児を遂行した夫の割合
(第5回調査の末子年齢0～5歳)



注) 60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下で、すべての育児の種類について回答しているケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

表 4 最も近い親の居住地別にみた夫の育児得点の平均値(第5回調査の末子年齢0～5歳)

親の居住地	育児得点	ケース数
同居	11.9	164
近居	10.8	322
遠居	10.9	178

注) 60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下で、すべての育児の種類について回答しているケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

4.3 夫の育児に対する妻の期待と評価

夫の育児に対する妻の期待について示したのが表5である。「期待する」の割合と最も近い親の居住地との関係は必ずしもはっきりしない。末子が0～5歳では、「期待する」の割合が最も高いのは「同居」の67.2%、最も低いのは「近居」の62.8%である。末子が6～12歳では、「期待する」の割合が最も高いのは「遠居」の51.5%、最も低いのは「近居」の43.4%である。末子が13～18歳では、「期待する」の割合が最も高いのは「同居」の46.3%、最も低いのは「遠居」の42.1%である。前節でみた家事に比べて、末子の年齢と最も近い親の居住地が同じ場合、育児の方が「期待する」の割合が高い。

一方、夫の育児に対する妻の評価について示したのが表6である。末子が0～5歳における「満

足」の割合は、最も近い親の居住地にかかわらず66%前後である。末子年齢が6～12歳における「満足」の割合は、「同居」の場合に最も低い52.7%、「遠居」の場合に最も高い57.0%である。末子が13～18歳における「満足」の割合は、「同居」の場合に最も高い55.9%、「遠居」の場合に最も低い47.3%である。前節でみた家事に比べて、末子の年齢と最も近い親の居住地が同じ場合、育児の方が「満足」の割合が高い。

表5に示した期待と表6に示した評価を比較すると、末子が0～5歳の場合には「期待する」と「満足」の割合がほぼ同程度であるのに対し、末子が6～12歳と13～18歳の場合には「期待する」の割合に比べて「満足」の割合が高い傾向にある。

表5 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた夫の育児に対して「期待する」、「期待しない」と回答した妻の割合(第5回調査)

末子年齢	親の居住地	期待する (%)	期待しない (%)	ケース数
0～5歳	同居	67.2	32.8	174
	近居	62.8	37.2	336
	遠居	64.3	35.7	182
6～12歳	同居	50.3	49.7	175
	近居	43.4	56.6	279
	遠居	51.5	48.5	169
13～18歳	同居	46.3	53.7	190
	近居	44.1	55.9	204
	遠居	42.1	57.9	152

表6 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた夫の育児に対して「満足」、「不満」と回答した妻の割合(第5回調査)

末子年齢	親の居住地	満足 (%)	不満 (%)	ケース数
0～5歳	同居	65.9	34.1	167
	近居	65.4	34.6	309
	遠居	66.3	33.7	172
6～12歳	同居	52.7	47.3	165
	近居	54.4	45.6	263
	遠居	57.0	43.0	158
13～18歳	同居	55.9	44.1	186
	近居	50.0	50.0	192
	遠居	47.3	52.7	146

注1) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

注2) 夫に対する妻の期待は「非常に期待している」と「まあまあ期待している」を「期待する」、「あまり期待していない」と「ほとんど期待していない」と「もともと期待していない」を「期待しない」とした。

注1) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

注2) 夫に対する妻の評価は「非常に満足」と「まあまあ満足」を「満足」、「やや不満」と「非常に不満」を「不満」とした。

5. 親の居住地からみた夫と妻のコミュニケーション

5.1 夫と妻の共通行動

生活上のさまざまな場面における夫と妻の共通行動の頻度について示したのが図12である。ここで取り上げた7つの項目のいずれにおいても、末子年齢が低い方が「よくある」の割合や「よくある」と「ときどきある」の割合を合計した値が高くなる傾向がみられる。それに対して、最も近い親の居住地の遠近と「よくある」の割合や、「よくある」と「ときどきある」の割合を合計した値との関連は項目によって異なる。

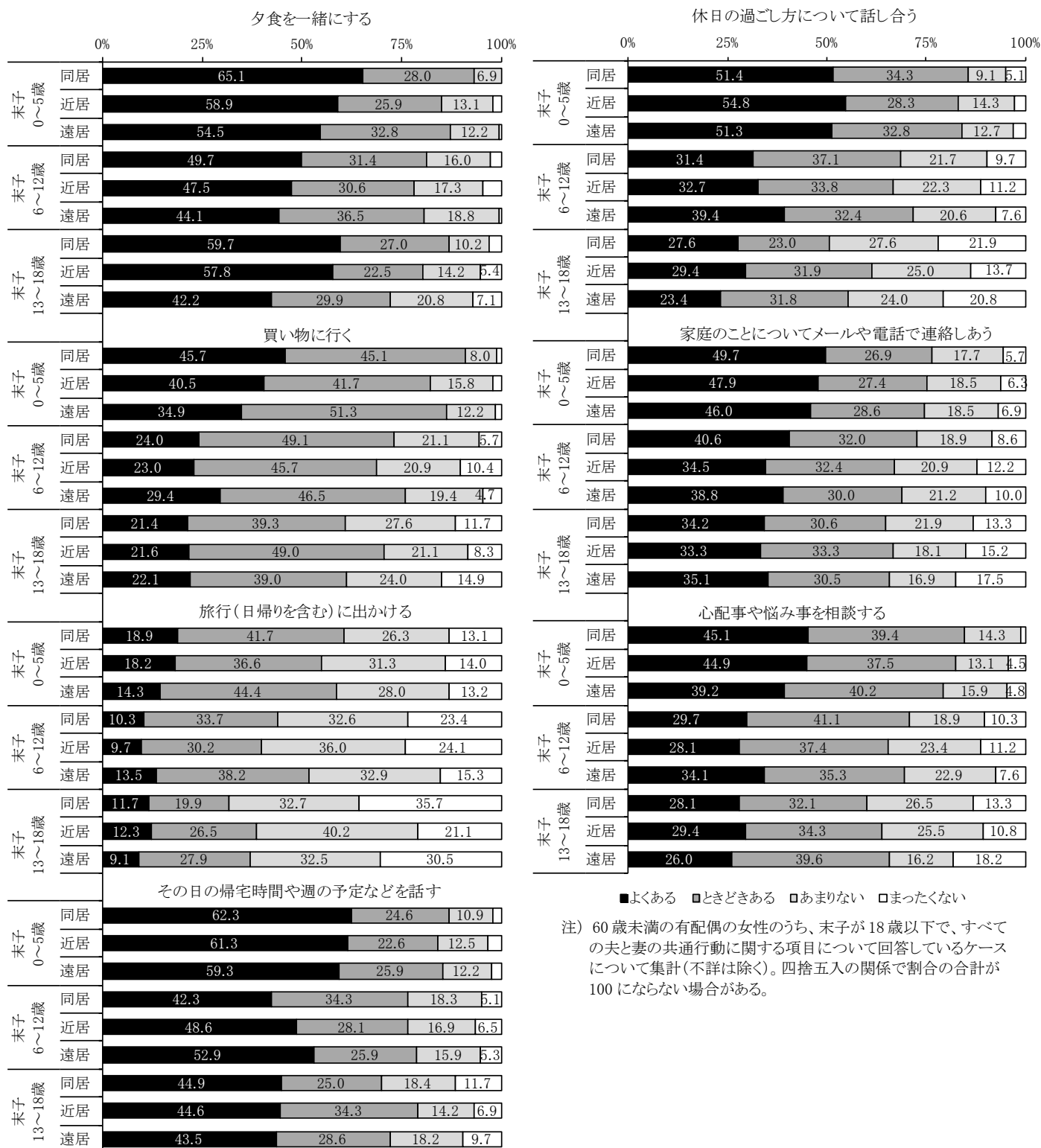
「夕食を一緒にする」については、夫と妻の共通行動として取り上げた項目の中では「よくある」の割合が最も高く、42.2～65.1%を占めている。末子年齢が同じ場合、親の居住地に近いほど「よくある」の割合が高くなる傾向がみられる。また、「よくある」と「ときどきある」の割合を合計した値が最も高いのは「同居」の場合であり、いずれの末子年齢でも80%を超える。

「買い物に行く」に関しては、末子年齢によって異なるパターンがみられる。末子が0～5歳の場合、最も近い親の居住地が遠くなるほど「よくある」の割合は減少し、最も高い「同居」で45.7%、「近居」で40.5%、最も低い「遠居」で34.9%である。それに対し末子が6～12歳の場合、最も

近い親が「同居」と「近居」では 23.0～24.0%であるのに対して「遠居」では 29.4%、末子が 13～18 歳の場合には最も近い親の居住地にかかわらず 21.4～22.1%である。

「旅行（日帰りを含む）に出かける」は、総じて「よくある」の割合が低い。末子年齢が同じ場合、最も近い親の居住地と「よくある」の割合や、「よくある」と「ときどきある」の割合を合計した値との間に一貫した傾向はみられない。

図 12 末子年齢別、最も近い親の居住地別、夫と妻の共通行動（第 5 回調査）



「その日の帰宅時間や週の予定などを話す」についてみると、末子が0～5歳と13～18歳では最も近い親の居住地が遠くなるにつれ「よくある」の割合が僅かに下がるのに対し、末子が6～12歳では逆に「よくある」の割合が上昇する。「よくある」と「ときどきある」の割合を合計した値は約7割であり、最も近い親の居住地との間に一貫した関係はみられない。

「休日の過ごし方について話し合う」については、末子年齢が同じ場合、最も近い親の居住地と「よくある」の割合や、「よくある」と「ときどきある」の割合を合計した値との間に一貫した傾向はみられない。

「家庭のことについてメールや電話で連絡しあう」については、末子が6～12歳や13～18歳の場合には最も近い親の居住地と「よくある」の割合や、「よくある」と「ときどきある」の割合を合計した値との間に一貫した傾向はみられない。末子が0～5歳の場合、最も近い親の居住地が遠くなるにつれ「よくある」の割合や「よくある」と「ときどきある」の割合を合計した値は低下する傾向にある。

「心配事や悩み事を相談する」についても、末子が6～12歳や13～18歳の場合には最も近い親の居住地と「よくある」の割合や、「よくある」と「ときどきある」の割合を合計した値との間に一貫した傾向はみられない。末子が0～5歳の場合、最も近い親の居住地が遠くなるにつれ「よくある」の割合や「よくある」と「ときどきある」の割合を合計した値は低下傾向にある。

5.2 夫と妻の意思決定

普段の生活において、特に重要な意思決定を行う必要がある場合に、夫婦のどちらがより大きい裁量権を持つのかについて、図13に示した。夫と妻の意志決定に関する設問は「妻」、「どちらかという妻」、「ふたりで一緒に」、「どちらかという夫」、「夫」から1つ選択する形式で尋ねている。ここでは、「妻」と「どちらかという妻」を「妻」に、「ふたりで一緒に」を「一緒に」に、「どちらかという夫」と「夫」を「夫」にそれぞれまとめた。

「車や耐久消費財など高価なものの購入」をみると、他の項目に比べて「妻」の割合が8.7～15.2%と低いのが特徴である。最も近い親の居住地と、「妻」、「一緒に」、「夫」の割合との間に一貫した関係はみられない。遠居の場合、末子年齢0～5歳と13～18歳を比べると、末子年齢が高い方が「一緒に」の割合が低下し「夫」の割合が増加する傾向がみられる。

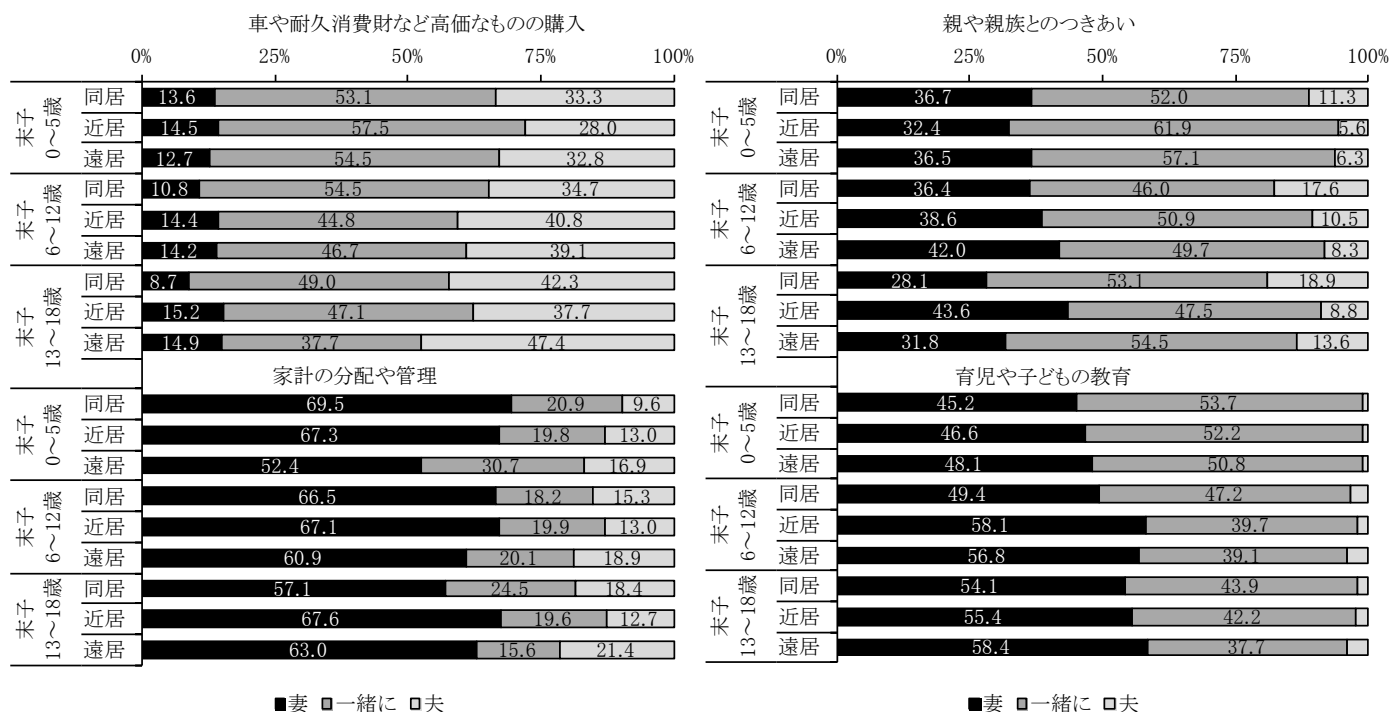
「家計の分配や管理」については、「車や耐久消費財など高価なものの購入」と対照的に「妻」の割合が高い。末子が0～5歳で最も近い親が「同居」や「近居」の場合、「妻」の割合は67.3～69.5%に対し、「遠居」では52.4%に低下し、他方で「一緒に」が19.8～20.9%から30.7%へ上昇する。末子が6～12歳の場合、「妻」の割合は「同居」と「近居」で66.5～67.1%であるが、「遠居」では60.9%に低下し、「夫」の割合が若干上昇する。

「親や親族とのつきあい」をみると、「妻」と「一緒に」の割合が総じて高い。その中で最も近い親が「同居」の場合、「夫」の割合が高くなる傾向がみられる。末子が0～5歳の場合、「夫」の割合は「近居」と「遠居」で5.6～6.3%であるが、「同居」では11.3%である。同様に、最も近い親が「同居」の場合の「夫」の割合は、末子が6～12歳で17.6%、13～18歳で18.9%であり、同じ末子年齢の「近居」や「遠居」よりも高い。

「育児や子どもの教育」については「妻」と「一緒に」の割合が高く、両方で95%を超える。末子年齢が同じ場合、最も近い親が「同居」よりも「近居」や「遠居」の場合に「妻」の割合が

高く、「一緒に」の割合が低い傾向がみられる。また、「同居」と「遠居」に関しては、末子年齢が高い方が「妻」の割合が高く、「一緒に」の割合が低い傾向がみられる。

図 13 末子年齢別、最も近い親の居住地別、夫と妻の意志決定(第5回調査)



注) 60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下で、すべての夫と妻の意志決定に関する項目について回答しているケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

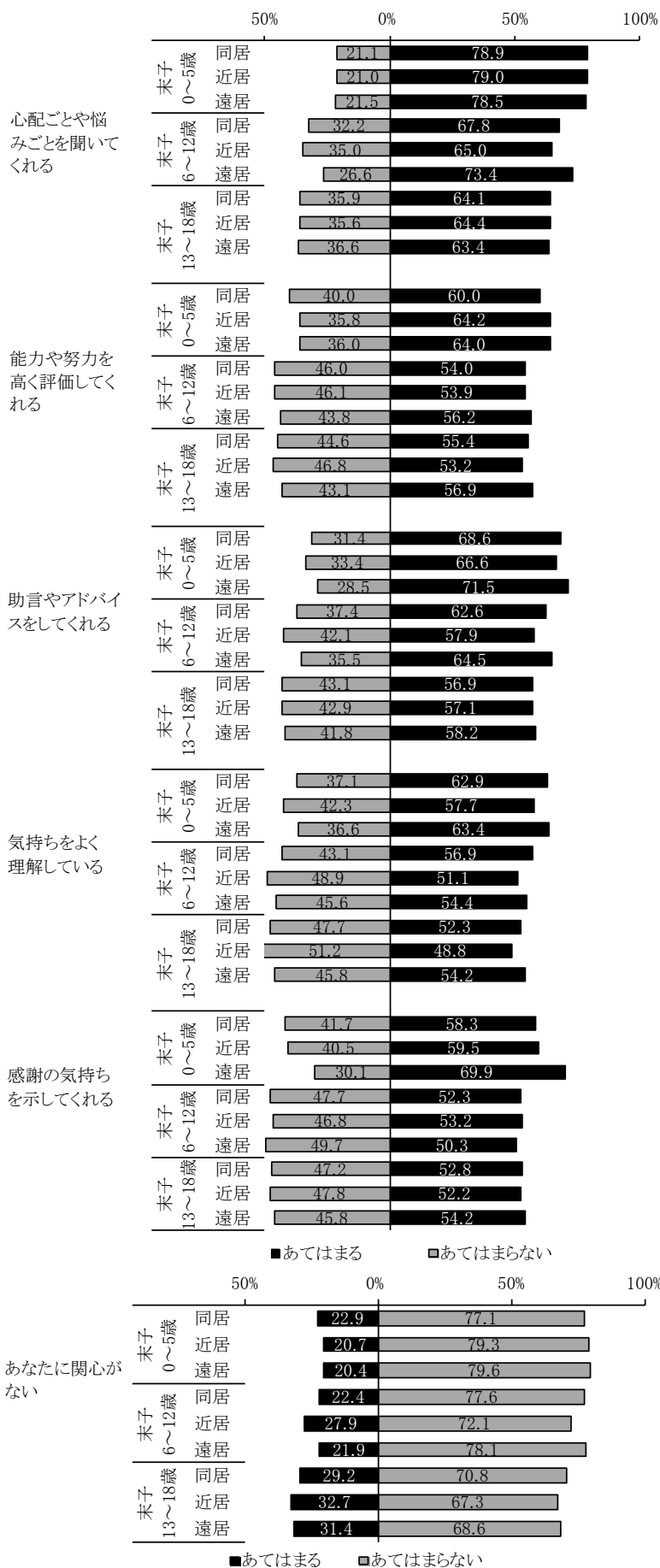
5.3 妻に対する夫の情緒的支援

妻に対する夫の情緒的支援について示したのが図14である。妻に対する夫の情緒的支援に関する設問は「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」から1つ選択する形式で尋ねており、同図では「あてはまる」と「ややあてはまる」を「あてはまる」に、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を「あてはまらない」にまとめた。また、情緒的支援のうち「あなたに関心がない」については、他と比較しやすくするために「あてはまる」と「あてはまらない」の向きを逆にして図示した。いずれの情緒的支援に関する項目をみても、肯定的評価である「あてはまる」(「あなたに関心がない」は「あてはまらない」)の割合が48%を超えている。

「心配ごとや悩みごとを聞いてくれる」については、「あてはまる」の割合が60%を超える。最も近い親の居住地による差はみられないものの、末子年齢が低いほど「あてはまる」の割合が高くなる傾向がある。例えば、末子が13~18歳では最も近い親の居住地にかかわらず63.4~64.4%の妻が「あてはまる」としているが、末子が0~5歳では78.5~79.0%に達する。

「能力や努力を高く評価してくれる」については、「あてはまる」の割合は53.2~64.2%である。この項目でも、最も近い親の居住地による差はみられず、末子年齢が0~5歳で「あてはまる」の割合が一番高い。

図 14 末子年齢別、最も近い親の居住地別、妻に対する夫の情緒的支援(第5回調査)



注) 60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下で、すべての情緒的支援に関する項目に回答しているケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

「助言やアドバイスをしてくれる」については、「あてはまる」の割合は 56.9～71.5%と比較的高い。この項目でも、最も近い親の居住地による差はみられず、末子年齢が低い方が「あてはまる」の割合が高くなる傾向がある。例えば、末子が 0～5 歳の場合に「あてはまる」の割合は 66.6～71.5%に対し、末子が 13～18 歳では 56.9～58.2%である。

「気持ちをよく理解している」に関しても、最も近い親の居住地による差はみられず、末子年齢が低い方が「あてはまる」の割合が高くなる傾向がある。例えば、末子が 0～5 歳の場合に「あてはまる」の割合は 57.7～63.4%であるが、末子が 13～18 歳では 48.8～54.2%である。

「感謝の気持ちを示してくれる」については、末子が 0～5 歳で最も近い親が「遠居」の場合に「あてはまる」の割合が 69.9%と突出して高いが、それ以外では末子年齢や最も近い親の居住地にかかわらず 50.3～59.5%である。また、末子が 0～5 歳の場合に「あてはまる」の割合がやや高い傾向がみられる。

「あなたに関心がない」については、末子年齢が高くなるにつれ関心があることを意味する「あてはまらない」の割合が低くなる傾向がみられるが、最も近い親の居住地による違いはみられない。

参考文献

国立社会保障・人口問題研究所 (2015a) 『第 5 回全国家庭動向調査 (2013 年社会保障・人口問題基本調査) 現代日本の家族変動』 調査研究報告資料第 33 号.

国立社会保障・人口問題研究所 (2015b) 『第 5 回全国家庭動向調査 (2013 年社会保障・人口問題基本調査) 現代日本の家族変動 (離死別編)』 所内研究報告第 58 号 (web 版のみ) .

<http://www.ipss.go.jp/ps-katei/j/NSFJ5/Dhoukoku/Dhoukoku.asp>

参考資料 ※ここでは本文で用いた図のデータを表形式で示す。なお、ケース数とは集計対象数を表し、不詳や非該当は含まない。

図1 調査回別、末子年齢別にみた最も近い親の居住地 (%)

調査回	末子年齢	ケース数	同居	敷地内の別棟	15分未満	15～30分	30～60分	1～2時間	2時間以上
第2回	0～5歳	987	12.2	4.8	31.1	19.4	12.3	8.4	12.0
	6～12歳	901	21.0	6.0	20.2	14.2	10.8	12.1	15.8
	13～18歳	795	31.9	3.0	16.2	12.5	9.3	9.7	17.4
第3回	0～5歳	1,194	23.5	3.7	29.1	14.6	10.3	8.9	10.0
	6～12歳	800	34.8	4.6	21.3	11.5	10.3	6.4	11.3
	13～18歳	682	39.0	3.1	20.1	7.8	10.0	7.9	12.2
第4回	0～5歳	924	19.7	5.7	31.1	15.9	9.3	8.0	10.3
	6～12歳	729	26.2	7.3	28.4	13.9	6.9	8.4	9.1
	13～18歳	551	32.5	7.4	21.8	11.4	9.1	8.2	9.6
第5回	0～5歳	722	25.6	6.5	28.5	12.7	11.1	6.5	9.0
	6～12歳	644	28.7	7.3	25.5	11.5	11.2	5.9	9.9
	13～18歳	574	36.2	7.1	20.4	8.7	10.6	7.5	9.4

注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図2 末子年齢別、調査回別にみた最も近い親の居住地 (%)

末子年齢	調査回	ケース数	同居	近居	遠居
0～5歳	第2回	987	12.2	55.2	32.6
	第3回	1,194	23.5	47.4	29.1
	第4回	924	19.7	52.7	27.6
	第5回	722	25.6	47.8	26.6
6～12歳	第2回	901	21.0	40.4	38.6
	第3回	800	34.8	37.4	27.9
	第4回	729	26.2	49.5	24.3
	第5回	644	28.7	44.3	27.0
13～18歳	第2回	795	31.9	31.7	36.4
	第3回	682	39.0	30.9	30.1
	第4回	551	32.5	40.7	26.9
	第5回	574	36.2	36.2	27.5

注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図3 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた精神的サポートの最も重要な支援提供者(第5回調査) (%)

項目	末子年齢	親の居住地	ケース数	夫	親	きょうだい	非親族	その他
出産や育児で困ったときの相談	0～5歳	同居	176	39.8	44.9	5.1	6.3	4.0
		近居	337	44.5	43.9	3.9	5.3	2.4
		遠居	185	53.0	34.6	3.8	3.8	4.9
	6～12歳	同居	174	32.8	46.6	9.8	5.7	5.2
		近居	271	33.9	48.0	7.0	7.4	3.7
		遠居	165	43.6	37.6	6.1	7.3	5.5
	13～18歳	同居	196	30.6	53.1	7.7	6.1	2.6
		近居	195	31.8	54.4	6.2	5.1	2.6
		遠居	153	45.8	39.9	5.9	3.3	5.2
子どもの教育・進路を決めるときの相談	0～5歳	同居	157	90.4	5.7	0.0	1.3	2.5
		近居	299	85.6	10.4	1.7	0.3	2.0
		遠居	166	91.6	6.0	0.6	0.6	1.2
	6～12歳	同居	164	86.0	3.7	1.2	2.4	6.7
		近居	260	81.5	9.6	0.8	2.7	5.4
		遠居	162	85.8	4.9	1.9	2.5	4.9
	13～18歳	同居	195	84.1	5.6	2.1	1.5	6.7
		近居	194	82.0	8.2	1.5	2.1	6.2
		遠居	148	87.8	4.1	1.4	3.4	3.4
夫婦間で問題があるときの相談	0～5歳	同居	145	2.1	57.2	9.7	22.1	9.0
		近居	278	5.4	52.5	11.9	25.5	4.7
		遠居	140	6.4	47.1	13.6	25.0	7.9
	6～12歳	同居	146	1.4	50.7	16.4	21.2	10.3
		近居	212	3.8	45.3	13.7	25.5	11.8
		遠居	129	2.3	44.2	17.1	20.9	15.5
	13～18歳	同居	156	2.6	41.7	17.9	24.4	13.5
		近居	155	3.2	51.6	11.6	20.0	13.5
		遠居	121	3.3	39.7	19.8	20.7	16.5

注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図4 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた世話的支持(長期的な世話)の最も重要な支援提供者(第5回調査) (%)

項目	末子年齢	親の居住地	ケース数	支援提供者 (%)					
				夫	親	きょうだい	妻	公共の機関など	その他
平日の昼間、第1子が1歳になるまでの世話	0~5歳	同居	178	0.6	8.4	0.0	87.6	3.4	0.0
		近居	339	0.3	4.1	0.0	95.0	0.6	0.0
		遠居	186	1.1	1.1	0.0	96.2	1.6	0.0
	6~12歳	同居	177	0.6	12.4	0.6	81.9	4.0	0.6
		近居	277	0.0	6.5	0.0	89.9	3.6	0.0
		遠居	166	0.6	1.8	0.0	94.6	3.0	0.0
	13~18歳	同居	201	0.5	17.9	0.5	78.1	2.5	0.5
		近居	198	0.0	6.1	0.0	89.9	3.5	0.5
		遠居	154	0.6	2.6	0.0	93.5	3.2	0.0
平日の昼間、第1子が1歳から3歳になるまでの世話	0~5歳	同居	167	0.6	12.0	0.0	68.9	18.6	0.0
		近居	315	1.3	8.3	0.0	71.7	18.7	0.0
		遠居	166	3.6	6.6	0.0	75.3	14.5	0.0
	6~12歳	同居	178	0.6	19.7	0.6	66.3	12.9	0.0
		近居	277	1.1	12.3	0.7	75.5	10.5	0.0
		遠居	166	1.8	6.6	0.0	80.7	10.8	0.0
	13~18歳	同居	201	0.5	22.4	0.0	64.2	12.4	0.5
		近居	198	1.5	10.6	0.0	77.3	10.1	0.5
		遠居	154	1.3	5.2	0.6	85.1	7.8	0.0
妻が働きに出るときの子どもの世話	0~5歳	同居	116	8.6	40.5	0.0	1.7	49.1	0.0
		近居	212	9.9	29.7	0.0	0.5	59.4	0.5
		遠居	91	12.1	12.1	0.0	0.0	71.4	4.4
	6~12歳	同居	150	14.7	55.3	0.0	2.0	24.0	4.0
		近居	203	16.3	40.9	1.0	2.0	35.5	4.4
		遠居	105	28.6	9.5	1.0	4.8	46.7	9.5
	13~18歳	同居	157	10.8	58.0	0.6	1.3	27.4	1.9
		近居	147	13.6	44.9	0.0	2.7	34.0	4.8
		遠居	95	27.4	16.8	1.1	10.5	34.7	9.5
妻が介護するときの子どもの世話	0~5歳	同居	79	51.9	32.9	3.8	5.1	5.1	1.3
		近居	160	49.4	32.5	3.8	10.0	4.4	0.0
		遠居	87	59.8	16.1	1.1	14.9	4.6	3.4
	6~12歳	同居	110	46.4	40.9	2.7	3.6	2.7	3.6
		近居	158	49.4	34.8	0.6	5.1	5.7	4.4
		遠居	89	59.6	13.5	4.5	9.0	7.9	5.6
	13~18歳	同居	127	44.9	40.9	0.8	9.4	3.9	0.0
		近居	130	41.5	37.7	1.5	9.2	4.6	5.4
		遠居	88	60.2	17.0	2.3	11.4	1.1	8.0

注1) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。
 注2) 「公共の機関など」は、そのほとんどが「保育所(保育士)」である。

図5 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた世話的支持(短期的・突発的な世話)の最も重要な支援提供者(第5回調査)

項目	末子年齢	親の居住地	ケース数	支援提供者 (%)				
				夫	親	きょうだい	妻	その他
第2子出産時の第1子の世話	0~5歳	同居	115	24.3	65.2	0.0	7.8	2.6
		近居	231	27.3	58.9	0.4	11.3	2.2
		遠居	108	25.9	50.0	5.6	17.6	0.9
	6~12歳	同居	145	18.6	62.1	2.8	13.1	3.4
		近居	214	22.0	57.5	1.9	17.8	0.9
		遠居	125	30.4	46.4	0.0	20.8	2.4
	13~18歳	同居	175	16.6	65.1	1.1	13.1	4.0
		近居	160	21.9	64.4	0.6	9.4	3.8
		遠居	118	19.5	59.3	0.0	17.8	3.4
妻が病気のときの子どもの世話	0~5歳	同居	162	48.1	45.7	0.0	4.3	1.9
		近居	312	49.0	37.8	0.0	10.9	2.2
		遠居	171	66.1	17.5	0.6	14.0	1.8
	6~12歳	同居	168	41.1	51.2	0.6	3.0	4.2
		近居	261	55.6	32.2	0.4	8.4	3.4
		遠居	157	72.0	16.6	1.9	7.6	1.9
	13~18歳	同居	186	39.2	53.2	1.1	5.4	1.1
		近居	192	55.2	33.9	0.5	8.9	1.6
		遠居	144	61.8	22.2	0.0	11.1	4.9
第1子出産時の妻の身の回りの世話	0~5歳	同居	176	18.8	75.0	0.0	4.0	2.3
		近居	336	19.6	68.8	0.6	10.1	0.9
		遠居	180	24.4	63.9	0.6	8.9	2.2
	6~12歳	同居	176	13.1	75.0	2.8	5.7	3.4
		近居	277	14.8	72.2	1.4	10.8	0.7
		遠居	161	19.9	65.8	0.6	11.8	1.9
	13~18歳	同居	193	11.4	77.2	2.1	8.3	1.0
		近居	196	15.8	70.9	0.0	11.2	2.0
		遠居	152	19.1	67.1	2.0	9.2	2.6

注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図6 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた経済的サポートの最も重要な支援提供者(第5回調査) (%)

項目	末子年齢	親の居住地	ケース数	夫	親	きょうだい	妻	その他
経済的に困ったときに頼る人	0～5歳	同居	129	20.2	71.3	0.0	1.6	7.0
		近居	248	15.7	77.0	1.2	1.2	4.8
		遠居	122	19.7	75.4	0.8	0.8	3.3
	6～12歳	同居	132	18.2	68.9	3.8	0.0	9.1
		近居	189	17.5	70.9	1.1	1.1	9.5
		遠居	109	16.5	71.6	2.8	0.9	8.3
	13～18歳	同居	152	24.3	63.2	4.6	0.0	7.9
		近居	150	12.0	81.3	0.7	0.7	5.3
		遠居	93	24.7	64.5	3.2	0.0	7.5

注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図7 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた妻の家事時間の分布(第5回調査) (%)

平日/休日	末子年齢	親の居住地	ケース数	2時間未満	2～4時間	4～6時間	6～8時間	8時間以上
平日	0～5歳	同居	173	8.7	31.2	31.8	12.1	16.2
		近居	334	2.7	27.8	35.3	18.3	15.9
		遠居	187	5.9	24.6	33.2	17.6	18.7
	6～12歳	同居	174	10.9	35.6	28.2	15.5	9.8
		近居	273	6.2	34.1	31.9	14.3	13.6
		遠居	167	3.6	31.1	33.5	16.2	15.6
	13～18歳	同居	190	6.3	36.3	31.6	13.7	12.1
		近居	198	5.1	34.3	31.3	13.1	16.2
		遠居	153	5.9	36.6	30.7	15.0	11.8
休日	0～5歳	同居	173	7.5	23.7	36.4	15.0	17.3
		近居	334	4.8	28.1	33.5	18.0	15.6
		遠居	187	9.6	22.5	30.5	18.2	19.3
	6～12歳	同居	174	8.6	26.4	29.9	17.8	17.2
		近居	273	6.2	28.6	30.0	17.6	17.6
		遠居	167	9.6	27.5	26.9	16.2	19.8
	13～18歳	同居	190	5.3	23.2	30.5	23.2	17.9
		近居	198	5.1	25.3	34.3	19.7	15.7
		遠居	153	3.9	33.3	30.7	17.0	15.0

注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図8 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた妻の家事分担割合の分布(第5回調査) (%)

末子年齢	親の居住地	ケース数	40%未満	40～59%	60～79%	80～89%	90～99%	100%
0～5歳	同居	167	3.6	2.4	10.2	18.0	47.3	18.6
	近居	329	2.1	3.3	13.4	20.4	45.9	14.9
	遠居	182	2.2	6.6	14.3	13.2	52.2	11.5
6～12歳	同居	168	4.2	1.2	10.1	17.9	35.7	31.0
	近居	269	1.5	3.7	11.2	14.9	43.5	25.3
	遠居	156	2.6	0.6	8.3	15.4	51.3	21.8
13～18歳	同居	185	4.3	1.6	7.0	15.1	44.9	27.0
	近居	196	1.0	0.5	9.7	15.3	44.9	28.6
	遠居	146	1.4	2.1	11.0	11.6	50.0	24.0

注) 60歳未満の有配偶の女性で、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図9 末子年齢別、最も近い親の居住地別、家事の種類別にみた週1～2回以上家事を遂行した夫の割合(第5回調査)

同居				近居				遠居			
末子年齢	家事の種類	ケース数	割合(%)	末子年齢	家事の種類	ケース数	割合(%)	末子年齢	家事の種類	ケース数	割合(%)
0～5歳	ゴミ出し	175	26.3	0～5歳	ゴミ出し	330	55.2	0～5歳	ゴミ出し	187	57.8
	日常の買い物	175	34.9		日常の買い物	330	37.3		日常の買い物	187	48.1
	部屋の掃除	175	13.1		部屋の掃除	330	19.7		部屋の掃除	187	26.7
	風呂洗い	175	22.3		風呂洗い	330	41.5		風呂洗い	187	41.7
	洗濯	175	17.1		洗濯	330	29.1		洗濯	187	30.5
	炊事	175	16.6		炊事	330	19.7		炊事	187	31.0
	食後の片付け	175	30.3		食後の片付け	330	41.2		食後の片付け	187	45.5
6～12歳	ゴミ出し	175	22.9	6～12歳	ゴミ出し	275	32.0	6～12歳	ゴミ出し	168	41.1
	日常の買い物	175	29.1		日常の買い物	275	27.3		日常の買い物	168	34.5
	部屋の掃除	175	12.0		部屋の掃除	275	16.4		部屋の掃除	168	18.5
	風呂洗い	175	16.0		風呂洗い	275	24.0		風呂洗い	168	29.8
	洗濯	175	17.7		洗濯	275	25.8		洗濯	168	24.4
	炊事	175	14.9		炊事	275	17.5		炊事	168	19.0
	食後の片付け	175	22.3		食後の片付け	275	34.9		食後の片付け	168	31.0
13～18歳	ゴミ出し	185	31.4	13～18歳	ゴミ出し	202	37.6	13～18歳	ゴミ出し	150	36.7
	日常の買い物	185	27.6		日常の買い物	202	27.7		日常の買い物	150	36.7
	部屋の掃除	185	16.2		部屋の掃除	202	14.9		部屋の掃除	150	18.7
	風呂洗い	185	21.6		風呂洗い	202	23.8		風呂洗い	150	28.7
	洗濯	185	16.8		洗濯	202	24.8		洗濯	150	29.3
	炊事	185	15.7		炊事	202	17.3		炊事	150	20.7
	食後の片付け	185	20.0		食後の片付け	202	24.3		食後の片付け	150	34.7

注)60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下で、すべての家事の種類について回答しているケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図10 末子年齢別、最も近い親の居住地別にみた妻の育児負担割合の分布(第5回調査) (%)

末子年齢	親の居住地	ケース数	40%未満	40～59%	60～79%	80～89%	90～99%	100%
0～5歳	同居	171	1.2	9.9	28.7	22.8	31.0	6.4
	近居	332	1.8	4.5	25.9	29.2	33.4	5.1
	遠居	180	1.1	6.1	26.1	28.9	33.9	3.9
6～12歳	同居	169	3.6	5.3	17.2	23.1	34.9	16.0
	近居	266	2.3	6.4	14.7	24.1	41.0	11.7
	遠居	166	1.2	9.0	23.5	18.7	40.4	7.2
13～18歳	同居	177	2.3	4.0	16.9	28.8	39.5	8.5
	近居	199	2.0	1.5	13.6	24.6	42.2	16.1
	遠居	150	1.3	4.0	14.0	16.0	48.7	16.0

注)60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下のケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図11 最も近い親の居住地別、育児の種類別にみた週1～2回以上育児を遂行した夫の割合(第5回調査の末子年齢0～5歳)

同居			近居			遠居		
育児の種類	ケース数	割合(%)	育児の種類	ケース数	割合(%)	育児の種類	ケース数	割合(%)
遊び相手をする	164	92.1	遊び相手をする	322	93.8	遊び相手をする	178	94.4
風呂に入れる	164	86.0	風呂に入れる	322	82.3	風呂に入れる	178	82.6
食事をさせる	164	64.0	食事をさせる	322	64.3	食事をさせる	178	68.5
寝かしつける	164	54.3	寝かしつける	322	43.2	寝かしつける	178	43.8
泣いた子をあやす	164	76.2	泣いた子をあやす	322	68.9	泣いた子をあやす	178	73.0
おむつを替える	164	64.6	おむつを替える	322	64.0	おむつを替える	178	71.9
保育園などの送り迎え	164	29.9	保育園などの送り迎え	322	21.7	保育園などの送り迎え	178	16.9

注)60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下で、すべての育児の種類について回答しているケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図12 末子年齢別、最も近い親の居住地別、夫と妻の共通行動(第5回調査) (%)

項目	末子年齢	親の居住地	ケース数	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
夕食を一緒にする	0～5歳	同居	175	65.1	28.0	6.9	0.0
		近居	336	58.9	25.9	13.1	2.1
		遠居	189	54.5	32.8	12.2	0.5
	6～12歳	同居	175	49.7	31.4	16.0	2.9
		近居	278	47.5	30.6	17.3	4.7
		遠居	170	44.1	36.5	18.8	0.6
	13～18歳	同居	196	59.7	27.0	10.2	3.1
		近居	204	57.8	22.5	14.2	5.4
		遠居	154	42.2	29.9	20.8	7.1
買い物に行く	0～5歳	同居	175	45.7	45.1	8.0	1.1
		近居	336	40.5	41.7	15.8	2.1
		遠居	189	34.9	51.3	12.2	1.6
	6～12歳	同居	175	24.0	49.1	21.1	5.7
		近居	278	23.0	45.7	20.9	10.4
		遠居	170	29.4	46.5	19.4	4.7
	13～18歳	同居	196	21.4	39.3	27.6	11.7
		近居	204	21.6	49.0	21.1	8.3
		遠居	154	22.1	39.0	24.0	14.9
旅行(日帰りを含む)に出かける	0～5歳	同居	175	18.9	41.7	26.3	13.1
		近居	336	18.2	36.6	31.3	14.0
		遠居	189	14.3	44.4	28.0	13.2
	6～12歳	同居	175	10.3	33.7	32.6	23.4
		近居	278	9.7	30.2	36.0	24.1
		遠居	170	13.5	38.2	32.9	15.3
	13～18歳	同居	196	11.7	19.9	32.7	35.7
		近居	204	12.3	26.5	40.2	21.1
		遠居	154	9.1	27.9	32.5	30.5
その日の帰宅時間や週の予定などを話す	0～5歳	同居	175	62.3	24.6	10.9	2.3
		近居	336	61.3	22.6	12.5	3.6
		遠居	189	59.3	25.9	12.2	2.6
	6～12歳	同居	175	42.3	34.3	18.3	5.1
		近居	278	48.6	28.1	16.9	6.5
		遠居	170	52.9	25.9	15.9	5.3
	13～18歳	同居	196	44.9	25.0	18.4	11.7
		近居	204	44.6	34.3	14.2	6.9
		遠居	154	43.5	28.6	18.2	9.7
休日の過ごし方について話し合う	0～5歳	同居	175	51.4	34.3	9.1	5.1
		近居	336	54.8	28.3	14.3	2.7
		遠居	189	51.3	32.8	12.7	3.2
	6～12歳	同居	175	31.4	37.1	21.7	9.7
		近居	278	32.7	33.8	22.3	11.2
		遠居	170	39.4	32.4	20.6	7.6
	13～18歳	同居	196	27.6	23.0	27.6	21.9
		近居	204	29.4	31.9	25.0	13.7
		遠居	154	23.4	31.8	24.0	20.8
家庭のことに メールや電話で連絡し合う	0～5歳	同居	175	49.7	26.9	17.7	5.7
		近居	336	47.9	27.4	18.5	6.3
		遠居	189	46.0	28.6	18.5	6.9
	6～12歳	同居	175	40.6	32.0	18.9	8.6
		近居	278	34.5	32.4	20.9	12.2
		遠居	170	38.8	30.0	21.2	10.0
	13～18歳	同居	196	34.2	30.6	21.9	13.3
		近居	204	33.3	33.3	18.1	15.2
		遠居	154	35.1	30.5	16.9	17.5
心配事や悩み事を相談する	0～5歳	同居	175	45.1	39.4	14.3	1.1
		近居	336	44.9	37.5	13.1	4.5
		遠居	189	39.2	40.2	15.9	4.8
	6～12歳	同居	175	29.7	41.1	18.9	10.3
		近居	278	28.1	37.4	23.4	11.2
		遠居	170	34.1	35.3	22.9	7.6
	13～18歳	同居	196	28.1	32.1	26.5	13.3
		近居	204	29.4	34.3	25.5	10.8
		遠居	154	26.0	39.6	16.2	18.2

注) 60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下で、すべての夫と妻の共通行動に関する項目について回答しているケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図13 末子年齢別、最も近い親の居住地別、夫と妻の意志決定(第5回調査) (%)

項目	末子年齢	親の居住地	ケース数	妻	一緒に	夫
車や耐久消費財など 高価なものの購入	0～5歳	同居	177	13.6	53.1	33.3
		近居	339	14.5	57.5	28.0
		遠居	189	12.7	54.5	32.8
	6～12歳	同居	176	10.8	54.5	34.7
		近居	277	14.4	44.8	40.8
		遠居	169	14.2	46.7	39.1
	13～18歳	同居	196	8.7	49.0	42.3
		近居	204	15.2	47.1	37.7
		遠居	154	14.9	37.7	47.4
家計の分配や管理	0～5歳	同居	177	69.5	20.9	9.6
		近居	339	67.3	19.8	13.0
		遠居	189	52.4	30.7	16.9
	6～12歳	同居	176	66.5	18.2	15.3
		近居	277	67.1	19.9	13.0
		遠居	169	60.9	20.1	18.9
	13～18歳	同居	196	57.1	24.5	18.4
		近居	204	67.6	19.6	12.7
		遠居	154	63.0	15.6	21.4
親や親族とのつきあい	0～5歳	同居	177	36.7	52.0	11.3
		近居	339	32.4	61.9	5.6
		遠居	189	36.5	57.1	6.3
	6～12歳	同居	176	36.4	46.0	17.6
		近居	277	38.6	50.9	10.5
		遠居	169	42.0	49.7	8.3
	13～18歳	同居	196	28.1	53.1	18.9
		近居	204	43.6	47.5	8.8
		遠居	154	31.8	54.5	13.6
育児や子どもの教育	0～5歳	同居	177	45.2	53.7	1.1
		近居	339	46.6	52.2	1.2
		遠居	189	48.1	50.8	1.1
	6～12歳	同居	176	49.4	47.2	3.4
		近居	277	58.1	39.7	2.2
		遠居	169	56.8	39.1	4.1
	13～18歳	同居	196	54.1	43.9	2.0
		近居	204	55.4	42.2	2.5
		遠居	154	58.4	37.7	3.9

注) 60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下で、すべての夫と妻の意志決定に関する項目について回答しているケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。

図14 末子年齢別、最も近い親の居住地別、妻に対する夫の情緒的支援(第5回調査) (%)

情緒的支援	末子年齢	親の居住地	ケース数	あてはまる	あてはまらない
心配ごとや悩みごとを聞いてくれる	0～5歳	同居	175	78.9	21.1
		近居	338	79.0	21.0
		遠居	186	78.5	21.5
	6～12歳	同居	174	67.8	32.2
		近居	280	65.0	35.0
		遠居	169	73.4	26.6
	13～18歳	同居	195	64.1	35.9
		近居	205	64.4	35.6
		遠居	153	63.4	36.6
能力や努力を高く評価してくれる	0～5歳	同居	175	60.0	40.0
		近居	338	64.2	35.8
		遠居	186	64.0	36.0
	6～12歳	同居	174	54.0	46.0
		近居	280	53.9	46.1
		遠居	169	56.2	43.8
	13～18歳	同居	195	55.4	44.6
		近居	205	53.2	46.8
		遠居	153	56.9	43.1
助言やアドバイスをしてくれる	0～5歳	同居	175	68.6	31.4
		近居	338	66.6	33.4
		遠居	186	71.5	28.5
	6～12歳	同居	174	62.6	37.4
		近居	280	57.9	42.1
		遠居	169	64.5	35.5
	13～18歳	同居	195	56.9	43.1
		近居	205	57.1	42.9
		遠居	153	58.2	41.8
気持ちをよく理解している	0～5歳	同居	175	62.9	37.1
		近居	338	57.7	42.3
		遠居	186	63.4	36.6
	6～12歳	同居	174	56.9	43.1
		近居	280	51.1	48.9
		遠居	169	54.4	45.6
	13～18歳	同居	195	52.3	47.7
		近居	205	48.8	51.2
		遠居	153	54.2	45.8
感謝の気持ちを示してくれる	0～5歳	同居	175	58.3	41.7
		近居	338	59.5	40.5
		遠居	186	69.9	30.1
	6～12歳	同居	174	52.3	47.7
		近居	280	53.2	46.8
		遠居	169	50.3	49.7
	13～18歳	同居	195	52.8	47.2
		近居	205	52.2	47.8
		遠居	153	54.2	45.8
あなたに関心がない	0～5歳	同居	175	22.9	77.1
		近居	338	20.7	79.3
		遠居	186	20.4	79.6
	6～12歳	同居	174	22.4	77.6
		近居	280	27.9	72.1
		遠居	169	21.9	78.1
	13～18歳	同居	195	29.2	70.8
		近居	205	32.7	67.3
		遠居	153	31.4	68.6

注) 60歳未満の有配偶の女性のうち、末子が18歳以下で、すべての情緒的支援に関する項目について回答しているケースについて集計(不詳は除く)。四捨五入の関係で割合の合計が100にならない場合がある。